

2020年第1四半期の国際収支統計

2020年5月20日 台湾中央銀行発表
(仮訳)

◆概要

2020年第1四半期の国際収支全体は、経常収支が181.6億米ドルの黒字、金融収支が170.8億米ドルの純資産の増加、中央銀行準備資産が41.3億米ドルの増加となった。

◆内訳

(1) 経常収支

経常収支の黒字額は、前年同期比ベースで+6.1%の増加となる10.5億米ドル増となった。

① 貿易収支の黒字は、前年同期比1.9億米ドル減少の124.1億米ドルの黒字となった。新型コロナウイルスの感染拡大が需給に大きな影響を及ぼしており、世界経済の減速及び国際原材料価格の低迷を受けて、輸出及び輸入は、それぞれ前年同期比24.8億米ドルの減少、同22.9億米ドルの減少となった。

② サービス収支の赤字は、主に旅行収支の赤字の減少を受けて、前年同期比3.8億米ドル減少の6.1億米ドルとなった。

③ 第一次所得収支は、主に銀行の対外利払いの減少を受けて、前年同期比9.4億米ドルの増加の72.1億米ドルの黒字となった。

④ 第二次所得収支の赤字は、主に労働者に

よる対外送金の増加を受けて、前年同期比0.8億米ドル増加し、8.5億米ドルとなつた。

(2) 金融収支

① 直接投資は、13.6億米ドルの純資産の増加となった。このうち、居住者による対外直接投資、及び、海外投資家による対内直接投資は、それぞれ23.8億米ドル、10.1億米ドルの純増となった。

② 証券投資は、236.7億米ドルの純資産の増加となった。このうち、居住者による対外証券投資は、主に国内の保険及び銀行部門による海外証券投資の増加を受けて、60.1億米ドルの純増となった。非居住者による証券投資は、主に海外投資家による台湾株式の保有の削減を受けて、176.5億米ドルの純減となった。

③ 金融派生商品の純資産は、主にその他金融機関による金融派生商品の処分損失にかかる支払いを受けた債務の減少を受けて、10.9億米ドルの増加となった。

④ その他投資の純資産は、主に銀行部門における海外からの借り入れを受けて、90.5億米ドルの減少となった。

(了)

国際収支の推移

(単位：億米ドル)

	2018					2019(r)					2020
		I	II	III	IV		I (r)	II (r)	III (r)	IV (r)	
経常収支	708.4	218.6	175.7	109.0	205.1	650.9	171.1	174.0	136.2	169.6	181.6
貿易収支	670.3	163.9	179.6	157.1	169.7	576.7	126.1	144.0	165.0	141.6	124.1
輸出	3,455.0	819.3	880.9	885.8	869.0	3,307.8	782.5	829.4	841.1	854.8	757.7
輸入 (▲)	2,784.6	655.4	701.3	728.7	699.3	2,731.1	656.4	685.5	676.1	713.1	633.6
サービス収支	▲66.2	▲13.9	▲23.3	▲22.9	▲6.1	▲51.2	▲9.9	▲12.3	▲18.7	▲10.3	▲6.1
第一次所得収支	137.5	77.6	26.6	▲16.7	50.0	154.1	62.7	48.0	▲4.5	47.8	72.1
第二次所得収支	▲33.2	▲9.1	▲7.3	▲8.4	▲8.5	▲28.6	▲7.8	▲5.7	▲5.7	▲9.5	▲8.5
資本移転等収支 (▲)	0.6	0.0	0.0	0.1	0.6	▲0.0	0.0	0.1	▲0.1	▲0.1	0.1
金融収支 (▲)	542.2	139.9	136.5	70.5	195.3	522.3	172.5	137.3	118.3	94.2	170.8
直接投資 (▲)	110.6	18.3	▲7.5	41.1	58.7	35.5	11.6	20.6	7.2	▲3.9	13.6
証券投資 (▲)	840.3	297.9	231.7	124.7	186.0	464.0	127.6	104.4	219.6	12.4	236.7
デリバティブ (▲)	16.4	▲0.0	4.6	10.5	1.2	25.0	▲2.3	18.6	6.0	2.7	10.9
その他 (▲)	▲425.1	▲176.3	▲92.2	▲105.9	▲50.6	▲2.3	35.5	▲6.4	▲114.5	83.0	▲90.5
中銀準備資産変動 (▲)	125.0	47.6	21.6	33.6	22.2	166.6	27.3	24.5	40.0	74.8	41.3

(出所) 2020.5.20 中央銀行発表 r:修正値 p:速報値

